

ベトナム語科

ベトナムの人口は 9000 万人を超え、そのほか諸外国にも 300 万人以上のベトナム人が在住しています。ベトナム語の文字は、西洋のアルファベットに記号を付けたものなので、文字を憶える苦労はあまりありません。発音は、中国語やタイ語と同じように「声調」があり、音の上がり下がりなどによって意味が区別されます。したがって、発音は必ずしも簡単ではありませんが、各講師から説明を受け、会話の練習を積み重ねれば、必ず身につけることができます。この講座で学ぶのは、首都ハノイを中心とする「標準語」なので、この講座で身につけた発音なら、どこへ行っても自分の意志を伝えることができるでしょう。また、読解力、作文力をつければ、本や新聞、インターネット・サイトから多角的な知識を得たり、ベトナム人と手紙や電子メールのやりとりをすることもできます。

基礎は、ベトナム語を初めて学ぶ人が、正しい発音と読み書きを習得することを目指します。この級では、基礎理論と発音練習のクラスを両方受講するシステムになっています。したがって、週 2 回のコース受講をすることになります。ベトナム語を学ぶ上で、発音力を身につけることは一番重要な要素の一つです。基礎及び初級クラスでどのように発音するのか説明を受けてから、会話のクラスで実践的な練習をすると、効率よく習得することができます。オリジナルの教科書『ベトナム語入門1』(CD 付き)を使い、発音の理論や初歩の文法と、会話練習の授業を交互に行います。教科書は、文字、発音の説明から始まり、挨拶、自己紹介、2 桁までの数字、時間の表現などが出てきます。

初級は、基礎課程を終えた人が、基本的な表現を学ぶクラスです。年月日や曜日の表現、3 桁以上の数字の読み方から始まり、「～が好き」「～ができる」「～して下さい」など、自分の意志や要望を伝える表現に進みます。日本人講師が文法・文意の解説、ベトナム人講師が応用会話を担当するので、基礎級と同じように両方のクラスを受講することが望ましいですが、どちらか一方だけの受講(単科B)も可能です。

基礎及び初級の段階では、まだ辞書は原則的に必要としません。『ベトナム語基本語彙集』(慶應義塾大学外国語教育研究センター発行)を任意に購入できますので、そこに出ている単語を憶えて使いこなすようにすれば、日常生活に不自由しない程度の語彙力はつくでしょう。むしろ、辞書を早期に活用できることにこしたことはありません。

中級は、基礎の発音と文法、表現力を身につけた人が応用に進む段階です。長文の文章の講読と簡単な作文のクラスと、応用会話を練習するクラスがあります。日常の衣食住や旅行のための表現、自分の意見の表明、慣用表現、お祝いやお悔やみなどの表現を学びます。講読・作文のクラスでは、特定の教科書は決めず、身近な話題を取り上げた記事などのプリントを配付しています。初級までに習った表現が出てくる文章を読み、それを応用した作文を練習します。この段階から辞書を持ち、予習が必要となります。いずれかの 1 クラスだけの受講(単科B)も可能です。

上級は、辞書を用いて新聞や雑誌をある程度読むことができ、簡単な手紙程度の文章が書け、自分の意見を表現できるレベルの人を対象とします。週 2 回の授業の両方ともベトナム人の講師が担当します。特定のテーマについて自由に意見を交わしたり、より高度な長文を読んだり、やや込み入った内容の作文を通して実践的な能力を高めます。いずれかの講師の 1 クラスだけの受講(単科B)も可能です。

※初級、中級、上級では、同じレベルにある 2 つの講座を同時に受講するセット科目を受講すると、学習効果も上がり、受講料も割引になるので、お時間がある方には週 2 回受講をお勧めします。(単科講座を個別に複数受講しても受講料の割引はありません。)

< 修了条件 >

上級の 2 講座をすべて合格した場合、ベトナム語科講座の課程修了となり、希望者には修了証を発行します。1 学期に 1 講座ずつ受講をする場合は、期を空けずに連続して残りのクラスを受講し、合格をすると修了となります。